

---

WORLD \* 零

とーた

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

WORLD\*零

### 【コード】

N0691Z

### 【作者名】

とーた

### 【あらすじ】

幼い頃からエリートとして育ったキキヨウはある日、謎の少年“シキ”と出会う。

二人の少年が、まだ知らない世界を駆け抜ける物語

シキは暗い道を走っていた。足は時折もつれ、受けた傷は酷く痛んだ。まだ、腕から血が流れている。

大きめの木が見えた。あそこなら少しだけ身を隠せるかもしれないと思い、シキは痛みに堪えながら体を引きずって行った。

つかの間の平穏。そして安堵…

しかし、いつまでも此処で隠れ、休んではいけない。追っ手は迫っているはず。

自分は今逃げているのだ。早く、早く安全な場所へ。その感情とは裏腹に、シキの体はいっこうに動こうとしない。否、動けないのだ。血を流しすぎたのか、あまつさえ眩暈すらしてきた。

「…ちくしょっつ！！」

自分は此処で死ぬのだろうか、シキは悟った。そこで、意識は途切れた。

今日は風がやけに強い。そんなことを思いながら、キキヨウは手元のレポートに目を向ける。半分以上は既に埋まっていた。風が、窓にカタカタと音をたたせている。飛ばされてきたのか、葉っぱなどが窓ガラスに張り付いていた。

音はさして気にならない、むしろソレによって高揚してくる気持ちを抑えるほどだった。風のざわめきが、草木の擦れ合う音が心地好い。

「キキヨウ君？」

不意に、母の声が聞こえた。自室のドアの方からだ。

「なに、母さん」

「お部屋寒くないの？宿題ならリビングでやれば良いのに…」

「大丈夫だよ。それに、自分の部屋の方がレポートの参考になる資料がすぐに見れるし、調度良いんだ。」

キキヨウは適当な言い訳をして、母をあしらう。母との仲は悪くはない、世間一般で見れば良い方だろう。だが、何となく今は一人になりたかった。自分でもわからないが、何となく。

「そう？じゃあ母さん、キッチンに居るわね。夕飯になったら呼ぶから。」

「うん、わかった。」

キキヨウはそう言って、部屋から出て行く母を見送った。再び、部屋は風の音で満たされる。今までに感じたことのない、不思議な感覚を覚えた。

刻々と、長いような短いような時間が流れた。無意識の内にレポートは終わっていたらしい。後で目を通したら形としては出来ていたから、一応集中はしていたのだろう。

母さんに呼ばれ、夕飯をとりダイニングへ向かった。この時、僕は知らなかったのだ。窓の鍵が開いていることに。

きつとこの時、歯車は廻ったのだ

僕の運命を変えた、歯車が



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0691z/>

---

WORLD\*零

2011年12月2日21時52分発行